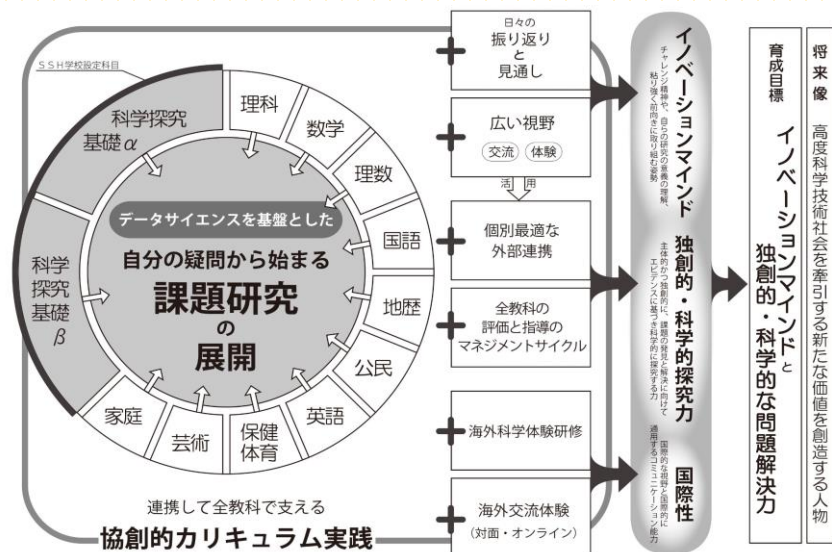


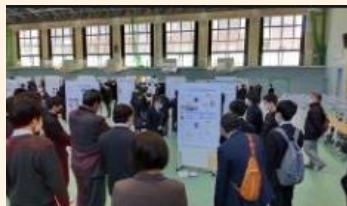
SSH（スーパーサイエンスハイスクール）とは

将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し、国から特別な予算を得て、理数教育に重点を置いた教育活動に関する研究開発を行う学校のことです。本校は平成23年度から指定を受けており現在、第3期の2年目を迎えています。この研究を通じて、先進的で特色ある様々な理数教育に関する取組を行います。全国で200校を超える学校が、香川県では高松第一高校と本校の2校が指定を受けています。現在、本校が取り組んでいるSSHの概念図は、下に示す通りです。



第11回 四国地区SSH 生徒研究発表会 (高知小津高校)

4月9日、第11回四国地区SSH生徒研究発表会が行われました。四国地区SSH指定校全10校が高知県立高知小津高校に集まり、ポスター発表を対面形式で行いました。本校からは、理数科3年生が発表、2年生が見学に参加しました。100本以上のポスターが並び、積極的な意見交換が行われました。2年生にとっても、自分の研究テーマを決めるヒントをつかんだようです。



3年生理数科の研究テーマ一覧

- 「ズイナが希少糖を含む理由の解明」
- 「ココナッツ活性炭よりも吸着力の強い活性炭の生成～活性炭の生成法～」
- 「廃棄野菜に含まれるデンプンを利用したエタノール生成とその定量」
- 「落ち葉からのCNF作成」
- 「ハニーワームのプラスチック分解細菌の単離」
- 「アブラムシの光走性の評価」
- 「コーヒー粕を用いた除草効果の検証」
- 「防波堤の位置、形状による砂浜の砂の流出量の違い」
- 「J1でのシュート決定率と各プレーとの関係」
- 「記者が感じる“プロ野球投手の活躍”の数式化と検証」

物理・化学・生物・地学・数学の各分野の研究が進められています。6月に行われるSSH課題研究発表会に向けて研究も大詰めです。

